

上場会社名 オムロン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6645 URL <https://www.omron.com/jp/ja/>
代表者 役職名 代表取締役社長 CEO
氏名 辻 永 順 太
問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長 TEL (075)344-7070
氏名 田茂井 豊晴
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 有・無
決算説明会開催の有無 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益 (△損失)		当社株主に帰属する 四半期純利益 (△損失)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	183,713	△9.7	6,267	△56.2	△12,502	-	△9,626	-
2024年3月期第1四半期	203,351	10.3	14,304	19.9	18,561	58.7	13,396	68.0

(注1) 四半期包括利益 2025年3月期第1四半期 16,895百万円 (△56.7%) 2024年3月期第1四半期 38,983百万円 (△2.3%)

(注2) 2025年3月期第1四半期の税引前四半期純利益 (△損失) には、構造改革プログラム「NEXT2025」に関する一時的費用 (196億円) を含んでいます。

	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益 (△損失)	潜在株式調整後1株当たり当社 株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△48.89	-
2024年3月期第1四半期	68.05	-

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,383,713	966,820	803,312	58.1
2024年3月期	1,354,729	950,993	786,686	58.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	52.00	-	52.00	104.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	-	-	-	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有・無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 当期純利益		当社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	825,000	0.8	49,000	42.7	21,000	△39.9	8,500	4.9	43.17	

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有・無

(注2) 2025年3月期の連結業績予想には、構造改革プログラム「NEXT2025」に関する一時的費用 (280億円) を含んでいます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有・無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無
- (3) 会計方針の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有・無
- ② ①以外の会計方針の変更：有・無

(4) 発行済株式数

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	206,244,872株	2024年3月期	206,244,872株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	9,332,579株	2024年3月期	9,329,283株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	196,913,513株	2024年3月期1Q	196,838,795株

(注) 2025年3月期第1四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式520,413株は、期末自己株式数に含めて記載しています。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式 (段階利益を表示しない方式) を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しており、「構造改革費用」、「その他収益—純額—」、「法人税等」、「持分法投資損益 (△利益)」は控除していません。
- 当社は、2024年8月2日 (金) に投資家向け説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- IAB： インダストリアルオートメーションビジネス (制御機器事業)
- HCB： ヘルスケアビジネス (ヘルスケア事業)
- SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス (社会システム事業)
- DMB： デバイス&モジュールソリューションズビジネス (電子部品事業)
- DSB： データソリューションビジネス (データソリューション事業)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 構造改革プログラム「NEXT2025」に関する一時的費用の計上について	P. 5
(3) 当四半期の財政状態の概況	P. 5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

○全般的概況

当第1四半期（2024年4月～6月）の当社グループの業績は、売上高・営業利益とも前年同期比で下回りましたが、概ね期初における当社想定どおりに進捗しました。

売上高は、社会システム事業においては前年を大きく上回ったものの、制御機器事業や電子部品事業がグローバルで設備投資需要が低調に推移したことなどによる減少の影響が大きく、また、制御機器事業において、前年同期の売上高が受注残に支えられていたこともあり、全体としては前年同期比で減少しました。

営業利益については、売上総利益率が前年同期比で改善しましたが、売上高減少による影響が大きく、前年同期比で減少しています。

また2024年2月26日に発表した構造改革プログラム「NEXT2025」の経営施策のひとつである人員数・能力の最適化を実施しました。これに関連し、当第1四半期においては、196億円の一時的費用を構造改革費用に計上しております。（「(2)構造改革プログラム「NEXT2025」に関する一時的費用の計上について」をご参照ください。）

当第1四半期の業績結果は以下のとおりです。

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	2,034億円	1,837億円	△9.7%
売上総利益 (売上総利益率)	905億円 (44.5%)	835億円 (45.4%)	△7.8% (+0.9P)
営業利益 (営業利益率)	143億円 (7.0%)	63億円 (3.4%)	△56.2% (△3.6P)
税引前四半期 純利益(△損失)	186億円	△125億円	—
当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	134億円	△96億円	—
米ドル平均レート	135.8円	154.6円	+18.8円
ユーロ平均レート	147.9円	166.7円	+18.8円
人民元平均レート	19.5円	21.3円	+1.8円

○セグメント別の状況

IAB (制御機器事業)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	1,106億円	856億円	△22.6%
営業利益	122億円	72億円	△41.5%

<売上高の状況>

製造業における設備投資需要は、中国での半導体市場に回復の兆しが見られる一方で、日本の半導体関連投資や中国における太陽光発電関連投資の需要停滞が継続するなど、グローバルで低調に推移しました。また、販売代理店における在庫については減少傾向にあるものの、引き続き在庫調整の影響を受けました。これらの結果、当第1四半期の売上高は、前年同期の売上高が受注残に支えられていたこともあり、前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上総利益率の改善や固定費削減に取り組むものの、売上高減少の影響が大きく、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	377億円	380億円	+1.0%
営業利益	48億円	48億円	△1.2%

<売上高の状況>

中国市場では前年の呼吸器疾患特需の反動によりネブライザ・酸素濃縮器の売上が減少したものの、欧州などの一部地域で主力製品である血圧計の需要が好調に推移したことに加えて、円安による為替影響もあり、売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<営業利益の状況>

売上総利益率の改善の取組みの一方、成長投資を継続的に実行したことなどにより営業利益は前年同期比で横ばいとなりました。

SSB (社会システム事業)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	235億円	261億円	+11.1%
営業損失(△)	△0億円	△1億円	—

<売上高の状況>

エネルギーソリューション事業は、住宅領域における再生可能エネルギーの自家消費関連需要が政府による電気料金の激変緩和措置の再開決定などの影響により低調に推移したものの、産業・商業領域でのカーボンニュートラルに向けた投資需要は堅調に推移し、全体として前年同期水準で推移しました。加えて、駅務システム事業は、設備投資需要が継続し好調に推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業損失の状況>

売上高は増加したものの、外貨建ての仕入コストが円安影響で増加したことや、成長投資を継続したことなどにより営業損失は前年同期並みとなりました。

DMB (電子部品事業)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	312億円	252億円	△19.3%
営業利益	25億円	1億円	△98.0%

<売上高の状況>

民生業界向けの需要は、一部エリアや先端半導体関連では回復が見られるものの、顧客での投資抑制や生産活動が停滞したことで低調に推移しました。自動車業界向け部品の需要は、グローバルで概ね前四半期から横ばいで推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高減少の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

DSB (データソリューション事業)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	—	84億円	—
営業損失(△)	—	△3億円	—

(注) データソリューション事業には、オムロンが進めるデータソリューション事業に関する財務数値と株式会社JMDC (以下、JMDC社) の財務数値に加え、JMDC社の連結子会社化に伴うのれんを除く無形資産の償却費を含めています。

<売上高の状況>

JMDC社における契約健康保険組合数、データ利活用先である製薬企業および保険会社との取引量、さらに遠隔読影サービスを利用する医療機関数などが引き続き拡大し、売上高は堅調に推移しました。

<営業損失の状況>

当セグメントに含まれるJMDC社の営業利益は堅調に推移しました。一方、ソリューション事業創出に向けた投資やJMDC社の連結子会社化に伴うのれんを除く無形資産の償却費の計上もあり、営業損失となりました。

(2) 構造改革プログラム「NEXT2025」に関する一時的費用の計上について

当社グループは、当第1四半期(2024年4月～6月)において、構造改革プログラム「NEXT2025」の経営施策のひとつである人員数・能力の最適化を実施しました。

その結果、国内においては2024年5月31日に希望退職の募集を終了し、退職が確定した人員数は1,206名となりました。海外においては、退職に合意した人員数は、2024年6月30日時点で1,055名となりました。

これに伴い、当第1四半期においては、196億円の一時的費用を当第1四半期連結損益計算書の構造改革費用に計上しました。

(3) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期末の資産の部は、短期借入による現預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ290億円増加して、13,837億円となりました。また、負債の部は、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ132億円増加して、4,169億円となりました。純資産の部は、為替換算調整額の増加などにより、前連結会計年度末に比べ158億円増加して、9,668億円となりました。株主資本比率は58.1%となっており、強固な財務基盤が維持されています。

資金の流動性については、手元現預金は1,638億円を保有しており、加えて金融機関との間で300億円のコミットメントライン契約を締結しています。また、格付機関から長期発行体格付として継続的に高格付を獲得しており、高い資金調達力とグローバルで金融機関との良好な関係を維持しながら、資金流動性と調達力を確保していきます。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月8日に公表しました通期の業績予想(以下、期初業績予想)については、当第1四半期業績が概ね想定通りに推移したことや事業環境も期初想定からの大きな変化を見込んでおらず、変更を行いません。

なお、人員数・能力の最適化にかかる一時的費用については、国内では当第1四半期に計上しましたが、海外については、当施策にかかる費用認識が第2四半期以降にも及ぶことから、第2四半期以降も一時的費用の計上を見込みます。現時点においては、期初想定どおり通期で280億円の一時的費用を見込みますが、最終的な退職者数などにより費用金額は変動する可能性があります。当該費用額の確定後、業績見通しの見直しが必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
(資産の部)				
流動資産	547,603	40.4	560,337	40.5
現金及び現金同等物	143,086		163,838	
受取手形及び売掛金	172,268		144,824	
貸倒引当金	△1,058		△1,070	
棚卸資産	174,034		187,012	
その他の流動資産	59,273		65,733	
有形固定資産	136,775	10.1	138,413	10.0
投資その他の資産	670,351	49.5	684,963	49.5
オペレーティング・リース 使用権資産	54,383		54,084	
のれん	361,783		367,461	
その他の無形資産	108,881		112,965	
関連会社に対する 投資及び貸付金	13,931		13,303	
投資有価証券	33,897		34,114	
施設借用保証金	7,883		8,090	
前払年金費用	65,267		65,680	
繰延税金	19,382		23,333	
その他の資産	4,944		5,933	
資産合計	1,354,729	100.0	1,383,713	100.0

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流動負債	231,160	17.1	244,866	17.7
支払手形及び買掛金・未払金	82,548		72,487	
短期借入金	22,548		51,338	
1年以内返済予定の長期借入金	6,451		6,365	
未払費用	47,345		38,233	
未払税金	6,457		3,875	
短期オペレーティング・リース負債	13,385		13,570	
その他の流動負債	52,426		58,998	
繰延税金	16,419	1.2	17,019	1.2
退職給付引当金	8,310	0.6	7,241	0.5
長期借入金	92,075	6.8	91,948	6.7
長期オペレーティング・リース負債	38,299	2.8	37,857	2.7
その他の固定負債	17,473	1.3	17,962	1.3
負債の部合計	403,736	29.8	416,893	30.1
(純資産の部)				
株主資本	786,686	58.1	803,312	58.1
資本金	64,100	4.7	64,100	4.6
資本剰余金	98,997	7.3	99,179	7.2
利益準備金	27,457	2.0	27,473	2.0
その他の剰余金	556,705	41.1	547,063	39.5
その他の包括利益累計額	109,396	8.1	135,468	9.8
為替換算調整額	95,767		121,635	
退職年金債務調整額	13,608		13,814	
デリバティブ純損益	21		19	
自己株式	△69,969	△5.1	△69,971	△5.0
非支配持分	164,307	12.1	163,508	11.8
純資産の部合計	950,993	70.2	966,820	69.9
負債及び純資産合計	1,354,729	100.0	1,383,713	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
売上高	203,351	100.0	183,713	100.0
売上原価	112,801	55.5	100,221	54.6
売上総利益	90,550	44.5	83,492	45.4
販売費及び一般管理費	63,001	31.0	66,135	36.0
試験研究開発費	13,245	6.5	11,090	6.0
営業利益	14,304	7.0	6,267	3.4
構造改革費用	—	—	19,562	10.6
その他収益—純額—	△4,257	△2.1	△793	△0.4
税引前四半期純利益(△損失)	18,561	9.1	△12,502	△6.8
法人税等	4,423	2.2	△2,696	△1.5
持分法投資損益(△利益)	562	0.2	△448	△0.2
四半期純利益(△損失)	13,576	6.7	△9,358	△5.1
非支配持分帰属損益	180	0.1	268	0.1
当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	13,396	6.6	△9,626	△5.2

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
	金 額	金 額
四 半 期 純 利 益 (△ 損 失)	13,576	△9,358
その他の包括利益 (△損失) 一税効果考慮後 為 替 換 算 調 整 額	25,553	26,049
退 職 年 金 債 務 調 整 額	449	206
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	△595	△2
そ の 他 の 包 括 利 益 計	25,407	26,253
四 半 期 包 括 利 益	38,983	16,895
(内訳)		
非支配持分に帰属する四半期包括利益	344	449
当社株主に帰属する四半期包括利益	38,639	16,446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益 (△損失)		13,576		△9,358
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益 (△損失) の調整				
(1) 減価償却費	6,897		8,437	
(2) 持分法投資損益 (△利益)	562		△448	
(3) 受取手形及び売掛金の減少	28,365		31,692	
(4) 棚卸資産の増加	△10,176		△7,274	
(5) 支払手形及び買掛金・未払金の減少	△7,440		△9,456	
(6) その他 (純額)	△23,930		△8,075	
営業活動によるキャッシュ・フロー		△5,722		14,876
		7,854		5,518
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 投資有価証券の売却による収入		746		760
2. 投資有価証券の取得		△160		△785
3. 資本的支出		△9,215		△10,614
4. 事業・会社の買収 (現金取得額との純額)		△366		△2,576
5. 有形固定資産の売却による収入		75		38
6. 関連会社に対する投資の増加		△642		—
7. その他 (純額)		110		△384
投資活動によるキャッシュ・フロー		△9,452		△13,561
(参考) フリーキャッシュ・フロー		△1,598		△8,043
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期債務の増加 (△減少) (純額)		△1,637		30,046
2. 短期借入れによる収入		1,080		1,500
3. 短期借入金の返済による支出		—		△2,781
4. 長期借入金の返済による支出		—		△213
5. 親会社の支払配当金		△9,645		△9,770
6. 非支配株主への支払配当金		△392		△1,271
7. その他 (純額)		9		△74
財務活動によるキャッシュ・フロー		△10,585		17,437
IV 換算レート変動の影響		4,615		11,358
現金及び現金同等物の増減額		△7,568		20,752
期首現金及び現金同等物残高		105,279		143,086
四半期末現金及び現金同等物残高		97,711		163,838

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローに投資活動によるキャッシュ・フローを加味した金額です。

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

- (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報)

[オペレーティング・セグメント情報]

FASB会計基準書第280号は、企業のオペレーティング・セグメントに関する情報の開示を規定しています。オペレーティング・セグメントは、企業の最高経営意思決定者が経営資源の配分や業績評価を行うにあたり通常使用しており、財務情報が入手可能な企業の構成単位として定義されています。

当社は取扱製品の性質や社内における事業の位置付け等を考慮した上で、オペレーティング・セグメントに関する情報として、IAB、HCB、SSB、DMBおよびDSBの5つのオペレーティング・セグメントを区分して開示しています。

各セグメントの主要な製品は次のとおりです。

- (1) IAB: インダストリアルオートメーションビジネス(制御機器事業)
……プログラマブルコントローラ、モーションコントロール機器、センサ機器、産業用カメラ・コードリーダー機器、検査装置、セーフティ用機器、産業用ロボット等
- (2) HCB: ヘルスケアビジネス(ヘルスケア事業)
……電子血圧計、ネブライザ、低周波治療器、心電計、酸素濃縮器、電子体温計、体重体組成計、歩数計・活動量計、電動歯ブラシ、マッサージャ、血糖計、動脈硬化検査装置、内臓脂肪計、遠隔患者モニタリングシステム、遠隔診療サービス等
- (3) SSB: ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス(社会システム事業)
……エネルギー事業(太陽光発電、蓄電システム)、駅務システム、交通管理・道路管理システム、カード決済ソリューション、IoT(電源保護・データ保護)ソリューション、ソフトウェア開発、保守メンテナンス事業等
- (4) DMB: デバイス&モジュールソリューションズビジネス(電子部品事業)
……リレー、スイッチ、コネクタ、IoT通信モジュール、汎用センサ、アミューズメント機器用部品・ユニット、顔認識ソフトウェア、画像センシングコンボ、MEMS(注)センサ等
(注)MEMS: マイクロ・エレクトロ・メカニカル・システムズの略称
- (5) DSB: データソリューションビジネス(データソリューション事業)
……データヘルスケア事業、コーポレートヘルス事業、スマートM&S(マネジメント・サービスソリューション)事業、カーボンニュートラルソリューション事業、データ活用ソリューション事業、自立支援事業等

セグメント情報の会計方針は、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に従っています。

各オペレーティング・セグメントに直接関わる収益および費用は、それぞれのセグメントの業績数値に含め表示しています。特定のセグメントに直接帰属しない収益および費用は、経営者がセグメントの業績評価に用いる当社の配分方法に基づき、各オペレーティング・セグメントに配分されるかあるいは「消去調整他」に含めて表示しています。

なお、「セグメント利益またはセグメント損失(△)」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除して表示しており、「構造改革費用」、「その他収益—純額—」、「法人税等」、「持分法投資損益(△利益)」は控除していません。

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) (単位: 百万円)

	IAB	HCB	SSB	DMB	計	消去調整他	連結
売上高							
①外部顧客に対する売上高	110,566	37,658	23,481	31,240	202,945	406	203,351
②セグメント間の内部売上高	1,251	47	3,094	10,560	14,952	△14,952	—
計	111,817	37,705	26,575	41,800	217,897	△14,546	203,351
営業費用	99,570	32,875	26,587	39,254	198,286	△9,239	189,047
セグメント利益 またはセグメント損失 (△)	12,247	4,830	△12	2,546	19,611	△5,307	14,304

(注) 1 セグメント間の内部取引における価額は、外部顧客との取引価額に準じています。

2 「消去調整他」には、配賦不能費用、セグメント間の内部取引消去、本社機能部門などが含まれていません。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) (単位: 百万円)

	IAB	HCB	SSB	DMB	DSB	計	消去調整他	連結
売上高								
①外部顧客に対する売上高	85,622	38,034	26,087	25,215	8,380	183,338	375	183,713
②セグメント間の内部売上高	1,113	106	2,460	8,413	65	12,157	△12,157	—
計	86,735	38,140	28,547	33,628	8,445	195,495	△11,782	183,713
営業費用	79,572	33,367	28,621	33,577	8,770	183,907	△6,461	177,446
セグメント利益 またはセグメント損失 (△)	7,163	4,773	△74	51	△325	11,588	△5,321	6,267

(注) 1 セグメント間の内部取引における価額は、外部顧客との取引価額に準じています。

2 DSBには、オムロンが進めるデータソリューション事業に関する財務数値とJMDC社の財務数値に加え、JMDC社の連結子会社化に伴うのれんを除く無形資産の償却費を含めています。

3 「消去調整他」には、配賦不能費用、セグメント間の内部取引消去、本社機能部門などが含まれていません。

[所在地別売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）（単位：百万円）

セグメント	IAB	HCB	SSB	DMB	計	消去調整他	連結
外部顧客に対する売上高							
日本	34,691	5,763	23,055	11,669	75,178	406	75,584
米州	11,437	6,630	—	4,076	22,143	—	22,143
欧州	23,785	7,077	—	4,470	35,332	—	35,332
中華圏	28,607	14,562	68	6,973	50,210	—	50,210
東南アジア他	12,045	3,484	—	4,015	19,544	—	19,544
直接輸出	1	142	358	37	538	—	538
計	110,566	37,658	23,481	31,240	202,945	406	203,351

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）（単位：百万円）

セグメント	IAB	HCB	SSB	DMB	DSB	計	消去調整他	連結
外部顧客に対する売上高								
日本	25,834	5,327	26,078	7,092	8,271	72,602	375	72,977
米州	10,265	6,799	—	4,134	—	21,198	—	21,198
欧州	16,670	8,173	—	2,691	—	27,534	—	27,534
中華圏	22,703	14,124	0	7,723	1	44,551	—	44,551
東南アジア他	10,150	3,503	—	3,537	—	17,190	—	17,190
直接輸出	—	108	9	38	108	263	—	263
計	85,622	38,034	26,087	25,215	8,380	183,338	375	183,713

(注) 1 「消去調整他」には、本社機能部門などが含まれています。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域など

(1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル

(2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン

(3) 中華圏……………中国・香港・台湾

(4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

(5) 直接輸出……………直送輸出取引

前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間におけるセグメント利益の合計額と税引前四半期純利益との調整表は次のとおりです。

(単位：百万円)

項目	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
セグメント利益の合計額	19,611	11,588
構造改革費用	—	19,562
その他収益—純額—	△4,257	△793
消去調整他	△5,307	△5,321
税引前四半期純利益（△損失）	18,561	△12,502